

(事業者向け)放課後等デイサービス自己評価表

平成31年1月1日 現在

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			改善点は多々あるかと考えていますが、集団としてのスペース、個々としてのスペースを適宜確保できるように工夫していきたいと思えます。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			スタッフ1に対して、児童の員数が2を超えないようにスタッフ数を配置するようにしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	階段に手すりの設置を行うなどしていますが、スロープやエレベーターなどの設備はございません。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向けの評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			当社ホームページ上で公表しております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	○			児童発達支援センター主催の研修会や札児連の研修会などに定期的に参加しています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の活動から得られる情報などの集積にも努め、将来を見据えた上でのスモールステップが組み込まれた計画となるよう心がけています
	10	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		当事業所での検査の実施等はございませんが、検査結果等は参考にさせていただいております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			どのような活動をどのように行っていくかなど職員全体で意見を出し合いながら検討をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	○			新しいプログラムや季節に応じた体験などが行えるようプログラムを考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			双方の活動がバランスよく行えるように日単位、週単位、月単位で考えながらプログラムを検討しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			短い時間でも必ず時間をとって、ミーティングを行うようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			情報を出し合いながらメモを残すようにし、次回以降の反省や注意点とするようにしています。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動の記録は必ず当日中に記録するようにしています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期でモニタリングを行ない、必要な修正や見直しを行うよう努めています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			偏りのあるプログラムにならないように努めています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に其の子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席させていただいております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか		○		ご家族を通じて、学校の行事等の予定は把握させていただいております。また緊急な連絡等は必要に応じ直接学校等へさせていただく場合があります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当の利用者はありませんが、事案に応じ連絡調整をお願いしていこうと考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			引継書を作成する他、必要に応じて連絡等行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修会に参加する他、活動に関する相談をさせていただくことがあります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	偶発的な関わりが得られることはありますが、これを目的とした活動は行っておりませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		交流会など可能な限り出席するよう努めています。
	28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談やノートの使用により情報交換に努めています。またいただいた情報は保管し、職員間でも共有に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		平成30年度中には、外部講師を招いた勉強会を実施することができ、限られた人数ではありましたが保護者様にもご参加いただくことができました。頻度としてはまだ十分ではないと感じています。
保護者への説明	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時の説明にとどまらず、適宜情報提供に努めていきたいと思っております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談いただいた案件に関しては、真摯に対応させていただこうと考えております。

明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後は、少しずつでも行っていけるように、計画していきたいと考えています。
------	----	---	--	--	---	--------------------------------------

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもの保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			真摯に対応させていただこうと考えています。気になることがある場合は、どのような方法でも構いませんので遠慮なくお申し出ください。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			一ヶ月に一度おたよりを発行させていただいております。現在は活動予定を中心にお伝えしていますが、必要な情報などあれば掲載していきたいと考えていますので、ご要望などお寄せ下さい。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭やノートなどを通じて連絡を行っておりますが、よりよい方法があれば都度取り入れて参りたいと考えています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所祭は、ご家族はもちろん、お知り合いの方、地域近隣の方々など広くお招きしております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	災害時対応などはお知らせしておりますが、十分でない分野もあると思いますので、順次お知らせして参りたいと考えております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員については年に2回の避難訓練を行っております。児童も含めた訓練を今後は行いたいと考えています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内の組織である虐待防止委員会が中心となり研修を行っております。事業所内に標語の掲示も行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			実際に了承をいただいているケースはございませんが、必要が生じた場合については、十分に説明を行っていきたく考えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	ご家族の申告に基づいて食物の提供を管理しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例を出し合い、再発防止、類似案件の発生防止に努めています。